

■下記の目標については、主として次に示した対応する科目等によって到達をめざすことになります。

目標到達の確認指標	対応する科目等	関連する科目
■B1 教員の使命や職務について基本的な理解に基づき、自発的・積極的に自己の職務を果たそうとする姿勢を持っている。	教育実習Ⅰ・Ⅱ	教職教育論 教職実践演習
■B2 気軽に生徒と顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができる。	教育実習Ⅰ・Ⅱ	教職実践演習
■B3 生徒の声を真摯に受け止め、生徒の健康状態や性格、生育歴等を理解し、公平かつ受容的な態度で接することができる。	教育実習Ⅰ・Ⅱ	教職実践演習
■B4 他者（他の教職員）の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、自らの職務を遂行することができる。	教育実習Ⅰ・Ⅱ 介護等体験	教職教育論 教職実践演習
■B5 挨拶や服装、言葉遣い、他の教職員への対応、保護者に対する接し方など、社会人としての基本が身についている。	教育実習Ⅰ・Ⅱ 介護等体験	教職実践演習

■ポートフォリオには、次のような成果資料を残しましょう（下線部は必須）。

- 学校での活動の記録（教育実習ノートの日誌部分から、生徒とどのように接したのか、指導教員からのアドバイスをどのように生かしたのかが分かるようなページを選んで、コピーを収録するのでも可）（B1、B2、B3、B4、B5）
- 教育実習などにおいて指導教員からいただいたコメント（B1、B2、B3、B4、B5）
- 教育実習などにおいて生徒たちからもらったコメント（B1、B2、B3）
※生徒の個人情報は削除すること。
- 学生ボランティア等で生徒と接した活動の記録（B1、B2、B3、B4）
※生徒の個人情報を記載しないこと。
- 課外活動などで、リーダーシップを發揮したことを示す成果資料（B4）